



Intel Energy Forum 2022



開催日時:2022年7月20日(水)

会場:ヒルトン東京お台場

イベント登録サイト:<https://event.intel.com/IEF2022>

プログラム

10:30	開場/受付開始			
11:15 11:35	ユーティリティ分科会 A-1 東京電力パワーグリッドの 新規事業の取組みについて(仮称) 東京電力パワーグリッド株式会社 事業開発室 室長 藤村 仁 様 事業環境の変化により、お客さまの求める電力供給の在り方、サービスの在り方が変化してきております。こうした変化に対応し、これからもみなさまから必要とされ続ける企業となるために、東京電力パワーグリッドで取組んでいる新規事業について、事例をいくつかご紹介いたします。	ユーティリティ分科会 A-2 社会課題解決に向けた電力データ活用 ～フレイル検知の取組み～ 合同会社ネコリコ 開発部 シニアマネージャー 山中 泰介 様 いわゆる団塊世代が後期高齢者になる 2025 年が目前に迫り、高齢者の健康寿命を延ばして医療・介護の負担を低減することは重要な社会課題となりつつあります。当社は電力使用実績データから居住者が要介護の手前であるフレイルの状態であるかを判定するAIを共同開発しており、この技術の社会実装に向けた取組みをご紹介します。	ユーティリティ分科会 A-3 ゼロカーボン社会実現に向けた デマンドサイドソリューションの取組み 関西電力株式会社 ソリューション本部 開発部長 児玉 智 様 関西電力のゼロカーボンに向けたデマンドサイドにおける新しい取り組みとして、CO2の見える化を起点とするエコシステムの確立、およびそのソリューションとしてのゼロカーボンパッケージの具体案のご紹介。	ユーティリティ分科会 A-4 東京ガスの電力事業における 価値共創の取組み 東京ガス株式会社 リビング技術部 執行役員 リビング技術部長 門 正之 様 2019 年 11 月に発表したグループ経営ビジョンで掲げた「CO2 ネット・ゼロ」「価値共創のエコシステム構築」「LNG バリューチェーンの変革」に沿って推進しているご家庭のお客さま向けの事業概要について解説するとともに、デマンドレスポンス等を活用したお客さまやパートナー企業との価値共創の取組みを紹介する。
11:40 12:00	ユーティリティ分科会 B-1 燃料電池“エネファーム”による 再生可能エネルギーのさらなる 普及拡大への貢献 大阪ガスマーケティング株式会社 商品技術開発部 リビング電力ソリューションチーム マネジャー 富尾 剛至 様 家庭用燃料電池“エネファーム”の省 CO2・環境性など商品の特徴、新たな付加価値として注力しているレジリエンス性と電力系統安定化への貢献普及拡大に向けた最近の取組み、および脱炭素社会実現に向けた今後の取組みについて紹介させていただきます。	ユーティリティ分科会 B-2 東北電力のスマート社会実現への 取組み(仮) 東北電力株式会社 事業創出部門クリーンエネルギーサービスユニット VPP担当部長 青山 光正 様 当社はスマート社会実現事業として、社会課題の解決や地域の方々の快適・安全・安心に資する多様なサービスをワンストップのトータルパッケージで提供することを目指している。その中核を担う会社として、2021 年 4 月に東北電力フロンティアを設立した。スマート社会実現事業の構想や VPP 事業を始めとした足元の取組みについて紹介する。	ユーティリティ分科会 B-3 AI を活用した配電設備における 営巣巡視業務の効率化 四国電力送配電株式会社 通信システム部 設備グループ 主任 松岡 正之 様 当社では、カラスなどによる電柱上の営巣が原因で起こる停電を防止するため、毎春営巣時期に多大な労力をかけて定期的な巡視業務を行っている。今回、業務効率化のため車載カメラで撮影した画像から、AI により営巣を自動検知するシステムを開発したので、AI の開発内容、実フィールドでの成果・課題対応について発表する。	
12:00 - 13:15 休憩 / ショーケース				
13:15 13:30	主催者講演 インテル株式会社 代表取締役社長 鈴木 国正			
13:30 14:00	基調講演 東京 2020 大会に向けた東京電力サイバーセキュリティ対策の軌跡と学び 東京電力ホールディングス株式会社 常務執行役 最高情報責任者(CIO) 最高情報セキュリティ責任者(CISO) 関 知道 様 世界的大イベントである東京 2020 大会における電力安定供給をサイバーセキュリティの面からどのように支えたのか、大会運営実績とサイバーセキュリティ組織能力強化の軌跡、そして学びと要諦を紹介する。			

プログラム

14:00 14:30	基調講演 中部電力グループ経営ビジョン 2.0 の実現に向けた DX の推進 中部電力株式会社 取締役 副社長執行役員 人財戦略室統括・経営戦略本部長・CIO 伊藤 久徳 様 中部電力グループでは経営ビジョン 2.0 を策定し、地域・社会の持続的な発展に貢献しながら「安心・安全で強靱な暮らしやすい社会」の実現を目指します。この実現に向けて、中部電力グループのDXとして取り組む「業務の変革」および「お客さまサービスの変革」について紹介いたします。			
14:30 15:00	特別講演 モビリティとエネルギーの連携 Honda eMaaS 本田技研工業株式会社 事業開発本部 事業開発統括部 エグゼクティブチーフエンジニア 岩田 和之 様 2021 年、ホンダは 2050 年にカーボンニュートラルを目指す方針を発表。併せて移動と暮らしがシームレスに繋がった世界を目指す独自のコンセプト「Honda eMaaS」を提案している。今回は「Honda Mobile Power Pack e:」を中心に最新の状況を紹介する。			
15:00 - 15:15 休憩 / ショーケース				
15:15 15:45	ソリューション分科会 C-1 インテリジェントアセットマネジメントが目指す姿 アクセンチュア株式会社 インダストリー X本部 マネジング・ディレクター 山下 克幸 様 適切な設備投資の継続、人件費低減のために、アセットマネジメント改革の重要性が増えています。設備管理と停電管理および系統運用のシームレスなデータ連係、DXを活用した業務自動化など最先端の技術を活用した弊社が提唱するインテリジェントアセットマネジメントをご紹介します。	ソリューション分科会 C-2 フィジカルとデジタルの融合で未来のエネルギーを共にデザインする 東芝エネルギーシステムズ株式会社 ESSデジタルリゼーション技師長 武田 保 様 近年エネルギー業界では、様々な変革が起きており、カーボンニュートラルに向けた動きも世界的に加速しています。そのような変化の大きい環境の中で、発電、送配電、蓄電、需要といった電力の幅広いバリューチェーンに関わる方々と共に価値創造や課題解決を推進するため、東芝がこれまでに培ってきた「電気をつくる、おくる、ためる、かしこくつかう」ための機器・システム・サービスのデジタル融合を基点にした総合的なエネルギーソリューションをご紹介します。	ソリューション分科会 C-3 持続可能なIT(ESG)永続的利用可能なストレージインフラ ピュア・ストレージ・ジャパン株式会社 公共・ヘルスケア部 営業部長 山本 純 様 永続的に安定稼働できるストレージが業務への一助となります。今回ご紹介するのは、業務への一助になるだけではなく環境にも配慮されたプラットフォームで、お客様自身のESG活動にも寄与できるポイントについてご紹介します。	ソリューション分科会 C-4 カーボンニュートラルのグローバル標準の現状とデータサイエンスの貢献 レッドハット株式会社 Industry 4.0 事業開発室 室長 松本 洋一 様 テクニカルセールス本部 エンタープライズソリューションアーキテクト部 シニアソリューションアーキテクト 渡邊 誉 様 2050年のカーボンニュートラル達成という大きな目標に対し、エネルギー業界はテクノロジーをどう活用すればいいのでしょうか。最新情報を踏まえつつ、オープンソースだからこそ可能な解決策をご紹介します。
	15:45 - 16:00 休憩 / ショーケース			
16:00 16:30	基調講演 お客さまや社会の皆さまと共に目指すゼロカーボン社会に向けた取り組み 関西電力株式会社 再生可能エネルギー事業本部 副事業本部長 槇山 実果 様 2050年ゼロカーボン社会実現のゴールに向けて、2030年度までの目標を定めたゼロカーボンロードマップの内容を軸に、再エネや水素等のゼロカーボン電源による関電自らの取組やお客さまや社会の皆様と共に取り組むデマンドサイド側の取組をご紹介します。			
16:30 17:00	基調講演 東京ガスグループが取り組む DX および CO2 ネット・ゼロへの挑戦 東京ガス株式会社 代表執行役副社長 CSO(最高戦略責任者) 笹山 晋一 様 環境・社会・市場等の事業環境が大きく変化する中、2021年11月、グループ経営ビジョン Compass2030 の実現に向けた具体的な道筋となる「Compass Action」を発表した。ここで掲げた「デジタルでの価値創出の加速」と「責任あるトランジションをリード」に関する取り組み状況について紹介する。			
17:00 17:15	今年の総括 インテル株式会社 執行役員 インダストリー事業本部 本部長 張 磊			
17:15 - 18:30 ショーケース				